

# Japan International Cooperation Agency

国際理解教育を支援します！

国際協力  
— ともなひ —

— 共同事業 —  
JICA



## 開発教育支援事業のご案内

世界を知る授業作りを目指す方へ。

国際協力に関する教育にご関心のある方へ。

P6

## 世界を知る!

### JICA横浜 訪問プログラム

開発教育・国際理解教育の一環として、校外学習や修学旅行生徒などの訪問を受け入れています。



教室から世界への扉を開くオススメメニュー

# 「国際理解教育」!!



P8

## 体験談を聞く!

### JICA国際協力出前講座

実際に開発途上国で、国際協力に携わってきた青年海外協力隊・シニア海外ボランティアのOB・OGなどを講師として皆様のもとへ派遣しています。

P10

## 出会う!

### JICA横浜 研修員の学校訪問

開発途上国から日本に来た研修員が学校に訪問します。日本文化の紹介や踊り等を通じ、異文化を知る交流プログラムは子供たちにも大人気です。



# 応援します

## P12

### 現場を見る！ 教師海外研修

神奈川県内の学校(小・中・高)教員を対象に、開発途上国の現状、日本との関係や国際協力への理解を深め、その成果を次代を担う子供たちの教育に役立ててもらうための研修です。



## P13

### 授業に役立つ！ 開発教育指導者セミナー

国際理解教育を担当されている先生方等を対象に、開発教育の担い手の育成を目的とした「開発教育指導者セミナー」を年2回、実施しています。

## P14

### 応募する！ JICA 国際協力エッセイコンテスト

全国の中学生・高校生を対象に、国際社会の中で日本は何をすべきか、また、自分たち一人ひとりがどう行動すべきかについて考えてもらうことを目的としたコンテストです。

### 国際協力実体験プログラム

高校生を対象とした参加型学習プログラムです。途上国より来日している「研修員」との交流を通して、国際協力と世界についての理解を深めます。



## P15

### 教室から“世界”を知る授業作りに

- 民族衣装 ● プレスペース
- ビデオ／パネル／キット
- 写真展・展示



# 年間を通し、JICA横浜プログラムを活用して

4月

教師海外研修に応募

5月

教師海外研修に合格!

6月

開発教育指導者セミナー(初級編)

フォトランゲージやランキングなど、授業ですぐ使える参加型学習の手法を学びました。

- \*1…写真やイラスト等を使って行う学習活動
- \*2…ある課題について、選択肢に優先順位をつけながら議論をする学習活動



7月

ウガンダでの海外研修

7/26~8/5

東アフリカ・ウガンダ共和国での10日間の研修を通して、様々な問題を抱える途上国の現状を肌で実感し、日本の国際協力についての見識を深めました。



8月



現地の子どもたちと交流。夢中になってソーラン節を踊る子どもたちの「ドッコイショ!」のかけこえがウガンダの空いっぱいにとだましました。

9月

ウガンダでの経験をもとに授業を開始!

ウガンダやザンビアの子どもたちの様子や国際協力活動について理解を深め、同じ地球に生きる者として、協力を必要としている人に対して、積極的にかかわっていかこうとする考え方や態度の基盤をつくることを目的として、11時間の実践授業を行いました。



# みませんか?

2008年度 石川先生の活用例

10月

## JICA横浜訪問プログラム+ 研修員の学校訪問プログラム

学年全クラスを引率してJICA横浜を訪問。児童は、用意していたソーラン節の披露や文化紹介などを通して、研修員9名と交流しました。



11月

## 国際協力出前講座

アフリカのザンビア共和国に派遣されていた青年海外協力隊員OBが小学校を訪問。アフリカでの生活の様子や孤児院での活動風景をスライドで紹介しました。



12月

## 実践授業終了!



1月

## 実践報告会!



指導者セミナーの申請

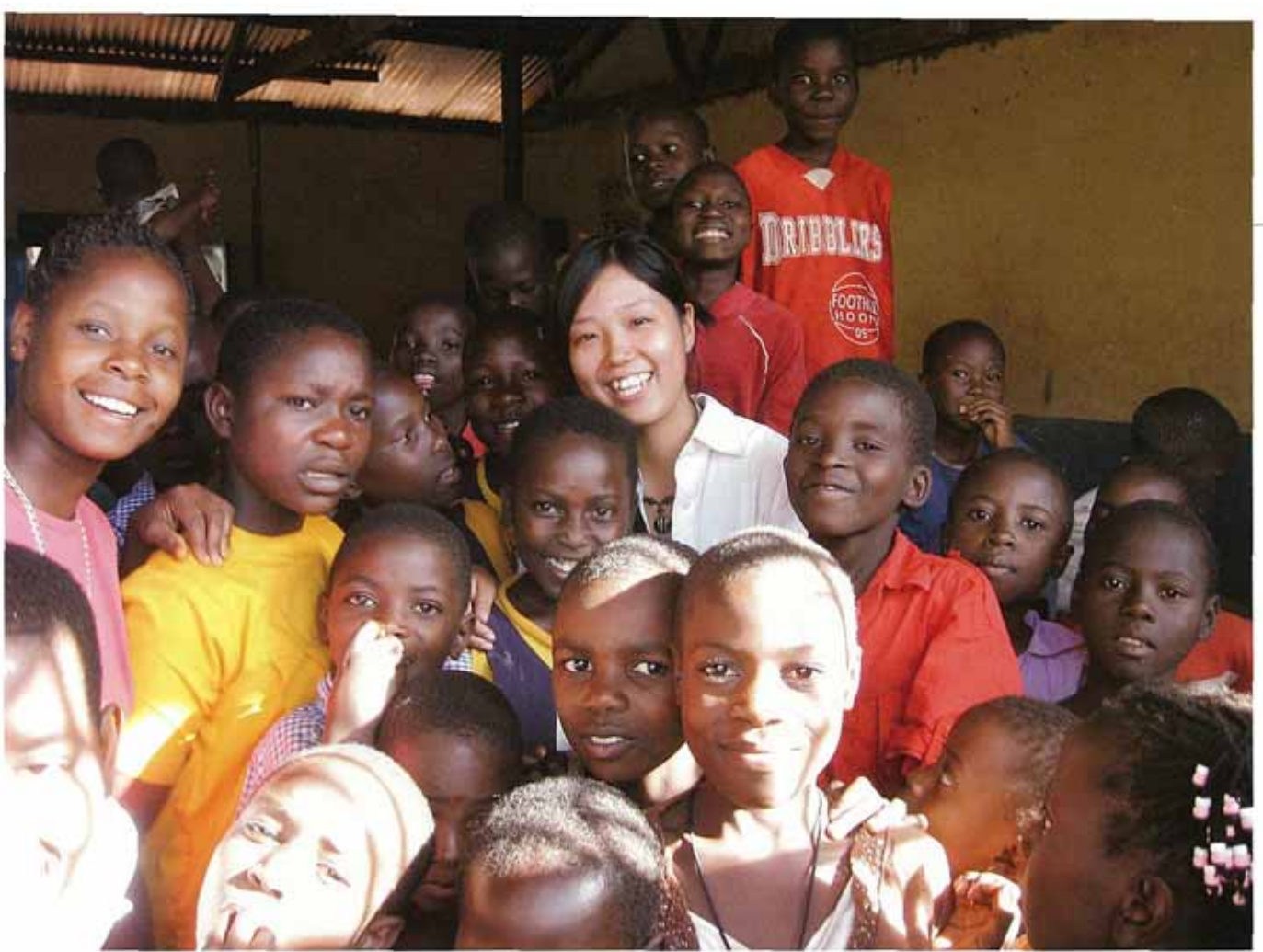
JICA横浜のプログラムを複合的に活用し、効果的な授業を実践している、石川先生を紹介します。

### プログラムを活用して…。

子どもたちにとって机上での学習のみならず、人との出会いや体験的な活動を通すことで、より主体的な学習が可能となり、そこから子ども自らが疑問に思ったことをさらに調べて考えていこうとする問題解決的な学習ができると思います。今年度の授業では、私自身のウガンダでの体験談から始まり、各国の研修員の方との交流、現地で活躍した日本人の方に出会うことで、子どもたちの学びはより深いものとなることができました。

石川和之先生  
宮谷小学校6年担任





## JICA横浜 訪問プログラム

国際協力や異文化への興味を促し、日本と世界のつながりに気付くことを目指したプログラム。その他、将来の職業を考えるキャリア教育に関する講義や、移住者や日系人の現地での苦労・経験を学ぶことで、身の回りの多文化共生を考えるプログラム（海外移住資料館の見学）も用意しています！

### 活用法

社会見学 修学旅行 総合的な学習 キャリア学習 社会の授業など

- 内容 2時間（120分）を基本として用意していますが、ご要望に応じてさまざまなバリエーションが可能です
  - 世界の国・JICAの活動について知ろう！
  - ボランティアOB・OGIによる体験談
  - 参加型ワークショップ
  - 国際協力の仕事について
  - 海外移住資料館の見学
- 対象 学校など教育機関（校外学習や修学旅行、大学のゼミ等）、自治体や市民団体など
- 人数 10～200名程度まで（応相談）
- 実施日 通年、月～金（土日祝を除く）
- 費用 無料

国際協力の現場を  
訪ねてみよう！



### 例1

## 小学生の 訪問プログラム(90分)

- ・世界の国を知ろう!
  - ・JICAって何をしているところ?
  - ・いろんな国のお話を聞こう!
- クイズやゲームを中心に、いろいろな国の文化・習慣などを紹介。



近年、キャリア教育、将来の職業を考える一環としての訪問プログラム依頼が増えていきます。

### 例2

## 中・高生の 訪問プログラム(120分)

- ・世界の国・JICAの活動について知ろう!
- ・青年海外協力隊体験談
- ・参加型ワークショップ
- ・将来国際協力を仕事にするには・・・
- ・海外移住資料館見学



### 生徒の感想

- ・自らの経験話を話していただいたので、説得力があってとても身近に感じた。援助することは、自分もその社会に身を置いて、現地の人と同じ目線で関わることが大切だと感じた。
- ・世界における日本の存在の大きさを知った。日本は世界の平和にとって、大変大きな役割を持っているのだと感じた。



申込用紙はHPのここをクリック!

JICA横浜:HPトップページ  
<http://www.jica.go.jp/yokohama>

### ■申込方法

2週間前までに電話で仮予約  
**TEL.045-663-3220**  
 希望日時、訪問者人数、  
 希望内容等をお伝え下さい。

依頼文書の作成・送付  
 郵送orFAXで  
 送付して下さい。



申込用紙 —各プログラムの  
 ・訪問学習(Web)25KB  
 ・出前講演(Web)4KB  
 ・研修員の学校訪問(Web)  
 ・教師海外研修(近日中)  
 ・開発教育指導者研修(近日中)

※2009年度の教師海外研修は近日中に掲載いたします



## JICA 国際協力出前講座

途上国で国際協力に携わってきた青年海外協力隊・シニア海外ボランティアのOB・OGやJICA専門家、JICA職員などを講師としてみなさまのもとへ派遣します。現場で活躍した人材だからこそその貴重な体験談やエピソードをお届けします！

### 活用法

教員研修(実践ワークショップ手法等)

総合的な学習の時間

キャリア学習(国際協力の仕事とは)

テーマ学習(文化祭等の行事や修学旅行の事前学習など)

■内容 ご希望のテーマや内容に応じて、講師を派遣します！

●世界の現状

●途上国での活動体験

●具体的なテーマについての体験談・講義

●民族衣装の紹介や、歌や踊り、クイズを盛り込んだワークショップ

■対象 学校等教育機関、自治体や市民団体など

■実施日 通年(実施日、講演時間ともご希望により調整可能)

■費用 講師への謝金(1人1回あたり4,200円)および交通費(実費)  
(原則として、依頼団体にご負担をお願いしています。)

教室へ、生きた  
体験談を運びます！



スリランカの  
シンハラ語体験中

### 例1

## 高校

講師：青年海外協力隊/名

内容：パワーポイントによるボランティアの活動紹介、フォトランゲージ、異言語体験、民族衣装の紹介



### 例2

## 一般市民講座

講師：シニア海外ボランティア1名(派遣地域：中東)

内容：パワーポイントによる体験談、学生との交流、途上国の現状と国際協力について等

## 生徒の感想

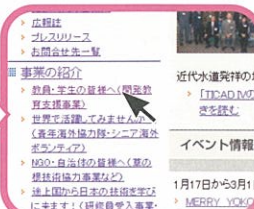
- ・ケニアの人はわずかのお金を稼ぐために一生懸命働いています。でも、彼らは自然の多いところでのびのびと遊ぶことや工夫する心など、とても大切なものを持っていると思いました。
- ・青年海外協力隊の活動は決して楽ではなく、辛いことも多く直面するけれど、得るものも本当に大きい活動なんだと感じました。大切なことを教えていただいて、感謝しています。



## ■ 申込方法

講演希望日の2ヶ月前までに、申込み  
まずは、電話にて希望日時・  
内容等をご相談下さい。  
**TEL.045-663-3220**

依頼文書の作成・送付  
郵送orFAXで  
送付して下さい。



申込用紙はHPのここをクリック!

JICA横浜:HPトップページ

<http://www.jica.go.jp/yokohama>

申込用紙 一各プログラムの年  
訪問学習 (Word/25KB)  
出前講座 (Word/44KB)  
研修員の学校入国 (Word/44KB)  
教師海外研修 (近日常)  
開発教育指導者研修 (近日常)  
※2009年度の教師海外研修は近日常に掲載いたします



## JICA横浜 研修員の学校訪問

教室が  
世界の窓口に！

JICA横浜では、開発途上国からの研修員を毎年あわせて約500名受け入れています。

生徒や教員の皆さんと研修員とが直接交流する機会を提供することによって、開発途上国に対する理解や国際協力・異文化について考えるきっかけ作りとなるプログラムです。ぜひご活用下さい！

### 活用法

英会話の実践学習（英語を使ってインタビュー）  
日本文化の紹介、世界の現状や異文化理解の学習など（社会科・総合的な学習の時間）

- 内 容 学校が企画するプログラムへ、開発途上国から国づくりに必要な技術を学ぶために来日中の研修員を派遣します！（企画および実施は、依頼団体側でいただきます）
- 対 象 神奈川県内の小学校・中学校・高等学校・大学
- 実施日 通年（実施日、講演時間ともご希望により調整可能）
- 費 用 無料



例1

## 小学校 「日本の文化紹介」

民謡、けん玉、こま、書道、もち焼き、大縄とび、竹馬等の日本文化を研修員に紹介。



例2

## 中学校 「調理実習」

中南米の日系研修員を招いて、一緒にブラジル料理のバステウを調理しながら、試食・歓談。

### 参加にあたって

- ・ 日本文化紹介等の交流は、双方にとって充実したプログラムとなっています。
- ・ 先生方との意見交換や校内見学（特に音楽室・家庭科室等での授業風景の見学）は研修員にとって有意義で、自国での教育活動にも役立つ時間となっています。是非取り入れてみませんか。



### ■申し込みから実施までの流れ

HPの「予約表」を確認  
仮予約：希望日を選択し、まずは電話（045-663-3220）

正式申込：訪問日1ヶ月前までに、「申込書」を提出。

企画：「計画書」を作成し、訪問実施日2週間前までに送付。

当日：  
JICA横浜のバスで、1～2名のスタッフとともに研修員が訪問します。到着後は、依頼団体が「計画書」に基づいて、自主的にプログラムの進行をお願いします



## 世界を体験する、感じる、そして伝える！

### 教師海外研修

校種の違う先生方がチームとなって、国際協力の現場で、途上国の現実を体験します。多彩な経験から学びと感動を持ち帰り、授業に役立ててもらおうプログラムです。

■対象 神奈川県内の小学校・中学校・高等学校に勤務する教員

■内容 開発途上国の社会・教育事情や様々な国際協力活動の現場訪問と、学校での国際理解教育に役立てていただくための事前事後の国内研修を組み合わせた総合的なプログラムです。

#### ■プログラムの流れ

※派遣国・応募資格・参加条件・費用等に関しては募集要項をご覧ください。

3月	募集要項 (HPに掲載します!)
5月上旬	応募メ切
5月下旬	参加者決定
6月・7月	派遣前研修 (2回)
7月下旬～	海外研修 (10日間程度)
8月上旬	
9月～	学校現場へフィードバック
1月	実践報告会

#### 参加者の感想

☆2009年度(派遣国:カンボジア)参加者の感想☆

- ・自分の仕事に誇りを持つことや希望を持って楽しくいきいきと生活することは、カンボジアだけでなく日本においてもとても大切な生き方であることに気がつかされた。
- ・様々な背景をもつ参加者と、国内外での研修を通して、同じテーマで語り合い、カンボジアを切り口に意見・思いの交流ができたことがよかった。
- ・今後自分が活動していく中で、共に学んでいける関係ができた。
- ・現地の人たちと支援団体の人たちが共に学び合い、協力して活動する様子から、カンボジアという国の未来の可能性を感じる事ができた。

ご希望の方には募集要項を送付します!  
詳しくは045-663-3220までお問い合わせ下さい。



## 授業に役立つ新しい学びをつくろう!

# 開発教育指導者セミナー

国際理解教育って?開発教育ってどんな授業をすればいいの?そんな先生方等のために、国際理解教育・開発教育の参加型学習の基本的な考え方や手法を学ぶセミナーです。

- 内 容 ワークショップ体験・参加型学習手法の紹介・実践報告・意見交換等  
※毎年内容は異なりますので、詳細はホームページでご確認下さい。

例：2009年度セミナー初級編(6月13日実施)

- ・基調講演「開発教育とは」
- ・ワークショップ体験  
(フォトランゲージやランキング等、開発教育の手法を使って国際協力や異文化理解・多文化共生をテーマとしたワークショップを体験!!)
- 対 象 小・中・高等学校の教員、国際理解教育に関心があるNGO・教育関係者など
- 人 数 40名程度
- 実施日 年2回 初級編(1日)／応用編(2日間)
- 費 用 無料(交通費、昼食代は参加者負担)
- 申込方法 FAXにて申込書を送付

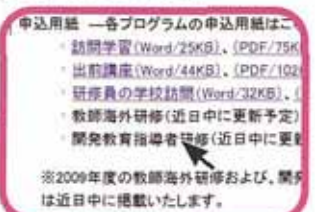
### 参加者の声

- ・授業での実践に役立つものをたくさん得られた。
- ・様々な視点からのものの見方の重要性を改めて感じた。
- ・とても勉強になったし、開発教育を通して自分自身や今後の活動を考えるきっかけになった。

申込用紙はHPのここをクリック!

JICA横浜:HPトップページ

<http://www.jica.go.jp/yokohama>





自分に  
できることって  
なんだろう？

## JICA国際協力エッセイコンテスト

全国規模のコンテストです！

☆夏休みの宿題に！

☆国語の作文指導・小論文対策に（AO入試対策にも活用できます！）

☆社会科の「地球・環境問題」学習の材料として。

■対象 全国の中学生・高校生

■内容 学校で習ったこと、本やテレビを通じて感じたこと、自分自身の体験・発見や最近知ったこと等を題材にした作文コンテストです。

■賞 上位入賞者には、海外研修旅行をプレゼント！

※詳細は、募集要項（HPに掲載します！）をご覧ください。

体験してみよう！国際協力と私たちの関わり

## 国際協力実体験 プログラム

高校生対象の参加型のプログラムです！

☆世界の現状や課題について学びながら、私たちは何ができるかを考えます。

☆開発途上国より来日している「研修員」との交流を通して、世界についての理解を深めます。

■対象 神奈川県内の高校生や大学生世代

■時期 8月中旬、2月上旬（詳細はHPをご覧ください）

■内容 参加型ワークショップ、研修員とのランチ交流会、元海外青年協力隊の体験談を交えたディスカッション



# 教室から“世界”を知る授業作りに

JICA横浜には材料が沢山!是非活用してみませんか?



## 民族衣装

民族衣装の無料貸出を行っています。文化祭、総合の時間等でご活用下さい!

↑  
民族衣装の無料貸出は2010年3月をもって終了しました。ご利用いただきありがとうございました。

パネルの貸出は2009年3月をもって終了しました。ご利用いただきありがとうございました。  
↓

## ビデオ/パネル/キット

国際協力や開発に関するビデオや写真パネル、フォトランゲージキットを貸し出しています。また、図書室には10,000冊を超える参考文献や資料を所蔵し、JICAの発行物も置いています。(図書の貸出はなし)



## プレイスペース (2階)

“見て!さわって!世界で起きているこんなこと”をテーマに毎月展示を開催。見るだけでなく手で触って、世界で起きている問題を「知る」ことができる楽しい展示がたくさんあります!

例)写真展: (MERRY YOKOHAMA at JICA)  
あなたにとってMERRY (楽しいこと、幸せなとき、将来の夢など)とは何ですか?



## 写真展・展示 (1階)

国際協力に関する写真展や企画展を開催し、展示に関連したワークショップやイベント、講演会も行っています。

## Port Terrace Cafe (3 F)

エスニック料理や民芸品(店頭で販売)を用意しています。訪問学習と併せてご利用下さい!

■昼食 11:30~14:00 ■喫茶 14:00~17:00 ■夕食 17:30~21:00



目的に沿った  
プログラムが  
探せます!

## JICA横浜 開発教育支援プログラム 対象者一覧

プログラム名	対象者	小学生	中学生	高校生	大学生	教員	一般
JICA横浜訪問プログラム	P6						
JICA国際協力出前講座	P8						
JICA横浜研修員の学校訪問	P10						
教師海外研修	P12						
開発教育指導者セミナー	P13						
JICA国際協力エッセイコンテスト	P14						
国際協力実体験プログラム	P14						
プレイスペース、資料室等	P15						

は対象となるグループ



問い合わせ&申込先

JICA横浜国際センター 市民参加協力課 〒231-0001 横浜市中区新港2-3-1

TEL:045-663-3220 (市民参加協力課直通) / FAX:045-663-3265

Mail: jicayic-kaihatsu@jica.go.jp URL: <http://www.jica.go.jp/yokohama>